

## コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス

## ComiNavi



『今回コミケに初めて行こうと思うんですけど...どやって行ったらいいんでしょうか?』毎回、コミケが近づくときどこかしらで聞かれる質問です。

『身近に行ったことがある人が居れば、色々教えてもらえるのに...』というビギナーのあなたに、遠くの先輩達が色々教えてあげちゃおう、というコーナーです。

## 使いこなせ、2枚のカード

首都圏をいちいち切符を買わずに移動できる乗車券はコミケにも強い味方、一度使ったら手放せないアイテム！でも、ちょっと困った点もある、それが『パスネットカード』と『Suica』というメインになる2つの乗車券で、利用できる範囲が異なるというコト。

関西方面には、その名も【するっと関西】という自由乗車券があり、これ一枚で範囲内の全電車に乗ってしまうのだが...残念ながらビッグサイトのある東京ではそうはいかない。

専用区間と相互に使える区間が入り組んでいて、なかなか一筋縄ではいかないのが困ったところだ。そこで、今回の『ComiNavi』では、この2つの乗車券を徹底解析！

## Suica(スイカ)

2003年にJRが投入した新システムの乗車券。

最大の特徴は、自動改札機の指定部分にカードを触れさせるだけで検札と会計がすむ【タッチ・アンド・ゴー】と、カードにあらかじめ料金を入金して繰り返し使える【チャージ】という新機軸のシステムを採用していることだ。

定期券と乗車券の機能を併合した『Suica定期券』、従来のイオカードの機能を受け継いだ『Suicaイオカード』、クレジットカード機能も併せ持った『Suicaびゅうカード』の3種類がある。

事前入金(チャージ)がきちんと行われていれば、定期券でも区間外への乗車が可能なので、利用可能範囲在住で、元々Suicaを利用している場合はそのままビッグサイトまで行けてしまう。

りんかい線、東京モノレールは、Suicaのみが自由乗降可能なので、コミケ期間中だけの利用でも、スムーズな移動のためには可能な限り導入しておきたい。

## チャージシステム

Suicaのカードには『デポジット(預かり)料』が設定されている。これは新規にカードを製作するときに支払い、カードが不要になった時にカードを返却する事で返金されるしくみになっている。

Suicaを新規に作成する場合の最低額は1200円だが、これは、『カードのデポジット料500円+運賃700円分』という内訳だ。運賃は以降1000円単位でチャージでき、解約時には残額から払戻し手数料を差し引いた金額にデポジット料500円を加えた額が返金される。

## パスネットカード

地下鉄及び首都圏の私鉄各線をカバーしている。

テレホンカードと同じ磁気カードで、仕組み的にも最初に決まった金額分のカードを購入し、その金額分使用可能という仕様のもの。

カードを直接自動改札機に通すことで、その都度切符を購入することなく乗車でき、現在、JRを除く20社の路線を相互利用できるが、元々、各社がそれぞれの路線で使用していたカード乗車券の規格を統一したものであるため、各線独自のシステムに対応した二重機能のものもあり、少々混乱しやすいのが難点。

使用、未使用に関わらず、カード残金は返金されないが、切符の購入や、精算の際にも使用可能だ。

イベントに合わせたイラスト、柄の記念カードが発行されることもあるので、コレクションの楽しみも。

## どこで買えるの？

利用可能な各鉄道会社の駅券売機や窓口で購入できる。1,000円、3,000円、5,000円の3種類で、有効期限は無い。首都圏の金券ショップ等でも購入可能。

都営バス他のバス会社が発行している首都圏バス共通乗車券『バスカード』とは共有できません。

パスネットカードの購入方、利用法、使用可能路線などについては、以下のURL『パスネット協議会公式ホームページ』に詳しく掲載されている。

<http://www.raifan.ne.jp/passnet/>